

奈良県川上村の観光情報が満載！

第13号

2025年春

ひとめぐり がわがみ

森の奥で生まれた一滴の水が、川となり、まちを潤し、海にたって、空に還る。

その大きな“ひとめぐり”の中で、水が生まれる「源流」に奈良県川上村があります。

ここには自然、素朴な暮らし、あたたかな人のつながりが受け継がれています。

さまざまな体験プログラムで川上村を“ひとめぐり”してみましよう。

都会では得られない感動に、きっと出会えるはず。



Kawakami Information

川上村がいつもより楽しくなる「春」のおすすめをご紹介します！

さくら通り

吉野川沿いに立ち並ぶ桜並木。国道169号線を吉野町から川上村に入って500mで吉野川に突き当たります。対岸を見ると森林組合から下流に向かって川上村の小学生が卒業記念に植えた桜が並びます。卒業生の夢や希望が詰まった小さな桜は、今では立派に育ち、「さくら通り」になりました。近くで見てもよし、離れてみるもよし、川から見上げるもよし、風が吹いて舞い散る桜は風情がありとてもきれいです。



絶景カフェから芝桜を一望

匠の聚のカフェの北側は全面ガラス張りです。遠く山もくっきり見ることができます。例年4月下旬から5月上旬にかけて匠の聚で芝桜が見頃を迎えます。一面を紫やピンク、白色で彩る綺麗な芝桜。この芝桜は村のシルバー人材センターの皆さんが丁寧に世話をしてくれているからこそ見られる素敵な景色です。ぜひ絶景カフェでおいしいコーヒーを飲みながら芝桜を堪能してみてくださいはいかがでしょうか。

匠の聚(たくみのむら)

〒639-3541 川上村東川135 営業時間/10:00~17:00 定休日/水曜日

春を感じる桜の公園

『万葉集』にも登場する景観地。4月上旬からソメイヨシノやしだれ桜、八重桜などが美しく咲き誇り長く楽しむことができます。芝生広場にあずまややベンチもあってゆっくりできます。広場から少し階段を上ると「蜻蛉(せいらい)の滝」という名所もあり、少し車を走らせれば、柿の葉寿司屋さんや「よもぎ」で作った草もちを販売しているお店も。都会の喧騒から離れたのんびりと春を感じられるスポットです。



あきつ小野公園

〒639-3542 川上村西河342

村を彩る鮮やかな山吹

毎年4月ごろになると、村内のあちらこちらで見ることができ、村の花にもなっている山吹。株元からたくさん伸びる枝の先に直径3~4cmほどの鮮やかな黄金色の花が一斉に咲き乱れます。そのまばゆいあでやかさが、道行く人の目を楽しませてくれます。

「ほろほろと山吹散るか 滝の音」

『笈(おい)の小文』の旅で川上村を訪ねた俳人、松尾芭蕉の詠んだ句です。激しい音を立てて岩の間を流れ落ちる滝を背景に、黄金色の山吹が川岸に咲き乱れ、ほろほろと散っていく姿が美しいことを詠んでいます。この句は川上村大滝の「大滝茶屋」の横にある碑に刻まれています。



よもぎを使った火打餅(誕生秘話)



今から37年前「ホテル杉の湯」のオープンに併せて新しい村の土産として誕生したのが「火打餅」です。

当時この土産の開発に携わったのが、高原地区の井本初代さんたち。「何が良だろう」「これはどうだろう」と悩みを悩んだ末にお釈迦様が使われていたと言われる火打ち石の形をしたお餅を餡入りで作りあげました。何度も試行錯誤を重ね、ホテルに納めたのがオープンの前夜だった、という話を聞きました。

以来、長年にわたり村を代表するお土産として今も作り続けられています。春になると地元の高原はもとより遠くまでよもぎを摘みに出かけました。朝早くからよもぎを蒸して杵と臼で餅をつき餡を丸めて餅で包んで形を整えます。毎日欠かさず作り続けている「火打餅」からよもぎの香りと小さな物語を感じてください。



「火打餅」は「道の駅杉の湯川上」で販売しています。



ばくばく館

高原の元気なお姉さま方。「かきもち」「火打餅」「でんがら」など家庭の味を伝えます。

新茶をお届け!



ひと昔前までは、この波津(はつ)地区ではお茶の栽培が小規模ながら行われていました。「波津茶」とよばれ品評会で入賞するなど美味しさには定評がありました。生産者の高齢化、後継者不足によってお茶の生産が途絶えていましたが、出口博一さんが奥さんの実家のある波津地区に移住してから、茶畑のある風景を取り戻そうと復活させました。毎年少しづつ手入れする茶畑を増やしています。

そして茶畑を守っていくために「茶摘み体験」を始めました。参加者も徐々に増え自分で摘んだ一番茶を蒸して、揉んで、乾かして自分だけのお茶を楽しんでいます。初夏の香りいっぱいのお茶はいかがでしょう。



出口ファーム
出口 博一さん

9年前に大阪から移住し果物や野菜を育てながら、特産品の開発も手掛ける。

出口さんが作るお茶は「道の駅杉の湯川上」で一番茶を緑茶、二番茶をほうじ茶として販売しています。



道の駅杉の湯川上

道の駅はその地域の観光をはじめ、訪れる人にとっては、村の玄関口にあたる存在です。「道の駅杉の湯川上」も川上村の入り口としての役割を果たしています。そして、川上村のお土産、特産品を届ける場所として毎年約8万

人が来ています。村の特産品も近年種類が増え販売額も増加し、特産品づくりの強い味方としてこれからもあり続けます。



春の体験プログラム 申し込み受付開始



2025年3～5月までの春の体験プログラムが盛りだくさん！
川上村の自然・歴史・文化に触れて楽しいひと時をお過ごしください。

■ 申込方法 ※お申込みの際は必ず注意事項をよく読んでからお申込みください。

Web 公式サイトから簡単予約

かわかみ源流ツーリズム
公式サイト
<https://g-tourism.jp/>

Tel お電話で直接予約

かわかみ源流ツーリズム
電話番号
0746-52-0333

各種SNSで体験プログラム情報を配信中

LINE 募集中のプログラムが確認できます

Instagram プログラム情報や川上村の観光情報を配信しています

YouTube 過去のプログラムの様子が動画で見られます

■ ひとめぐり かわかみ 体験プログラムのお申し込みについて

- 体験プログラムにご参加いただくには、事前にご予約が必要です。各プログラムに記載のお申し込み先へ予約をしてください。
- 申し込みの際は、参加者全員の **①お名前 ②お電話番号 ③ご住所 ④生年月日 (保険加入用)** をお知らせください。
※小学生以下の方は保護者の参加も必要です。

〈ご注意・お願い〉 ※必ずご確認ください

○お申し込み時点ではご参加は確定となりません。必ず主催者からの連絡をご確認ください。○参加予約は先着順となります。定員に達したプログラムは応募を締め切らせていただきます。○最少催行人数に達しないプログラムは中止となります。原則開催日の10日前をめどに実施の可否を判断いたします。○お申し込み・お支払方法、キャンセル規定等はお申し込み先により異なります。○各主催者がみなさまの参加を楽しみに事前の準備をしております。お申し込み後、やむなく参加を取りやめる場合は、必ずご連絡をお願いいたします。プログラムによってはキャンセル料が必要な場合がございます。詳細はホームページをご覧ください。○お電話にてお問い合わせください。○プログラムは天候や諸事情により内容が変更されたり、中止となる場合がございます。○自然現象や野生動植物はご覧いただけません。○各プログラムの集合時間、集合場所、持ち物、詳細や注意事項等はかわかみ源流ツーリズムウェブサイトにて必ず事前にご確認ください。○今後の参考とさせていただきますので、アンケートのご協力をお願いいたします。○いただいた個人情報は、体験プログラムの手配・連絡、保険加入、当財団からの商品・サービスのご案内、個人を識別できない形式の統計情報として使用いたします。○プログラム実施中、記録写真・動画の撮影を行います。撮影した写真や動画は報告書やSNS、体験プログラムの広報にて使用させていただきますので、ご了承ください。

3/9 西河・徳蔵寺で庚申さんの「守り申」づくり



畿内三庚申として有名な川上村西河「徳蔵寺」の庚申堂。
自分の身代わりとなって災いを除けてくれる「守り神」をお寺の方に教えてもらいながら作ってみましょう。庚申堂には、明治時代の守り神も。「守り申」は、約1時間で一体作れます。ベーシックな赤と自分の好きな色とで2つ分ご用意されています。作った「守り申」は、1年間お守りとして玄関先などに飾ってください。
地元食材を生かした特別なお弁当も楽しみつつ、お寺でゆっくりと過ごしてください。
なお、近年は、3月の最終日曜日に「庚申法要(まつり)」が行われます。

行程
9:50 アルポール横駐車場集合・徒歩10分・徳蔵寺守り申作り・昼食・お弁当・守り申づくり・14:00 解散予定

ガイド
徳蔵寺 寺族
辰巳 悦佳さん
住職のお母さんで徳蔵寺に嫁いで50年余り、当時の賑わいを消さないよう、お参りの方々が楽しんでいただけるよう、季節の花を植え境内を美しく守っています。



日時 2025年**3月9日**(日) 10:00～14:00

集合場所 喫茶アルポールかわかみ 横駐車場

参加費 **4,800円**(税込)
※ガイド料、体験料、昼食、保険料含む

定員 **8名**(最少催行人数5名)

3歳～小学生以下のお子さまが参加の場合、保護者は1,000円(見学科・昼食)で付き添いが可能です。

3/30 4/6 奥吉野の桜を満喫 お花見パックラフト



パックラフトは、コンパクトで軽量のボートで最近注目のアクティビティです。体験場所は、吉野川本流西河地区にある別殿淵。対岸道路沿いに「さくら通り」があります。「さくら通り」は川上村の小学生たちが卒業記念に植樹した桜並木で、今では村の春の名所になっています。
パックラフトに乗りながら川面から桜を満喫。穏やかな川なので初めての方や子どもにも安心してゆっくりお楽しみいただけます。
※桜の開花時期に合わせて、過去のデータに基づき予想していますが、その年の気象状況によって花が見られない場合もございます。

行程
8:50 アルポール横駐車場＝車5分＝西河吉野川河原
パックラフト体験＝11:30 解散予定

ガイド
エバークリーン
廣末 優さん
五條市を拠点にラフティングやトレッキングを、川上村ではキャニオニング事業等を展開しています。吉野川紀の川源流ツーリズム推進協議会のメンバーでもあり、地域にも協力的なプロのガイドです。



日時 2025年**3月30日**(日)・**4月6日**(日) 9:00～11:30

集合場所 喫茶アルポールかわかみ 横駐車場

参加費 **7,000円**(税込)
※ガイド料、貸出用具(ウェットスーツ、パックラフト一式、パドルジャケット、ヘルメット、ライフジャケット)、保険料含む

定員 **10名**(最少催行人数4名)

4/6 4/16 4/20 5/11 5/18 村のアマゴ釣り名人の特別レッスン



渓流のアマゴ釣りに興味があってこれから始めたい人。本格的に釣りを学びたい人。天然のアマゴを釣りたいけどポイントが分からない。そんな方々の要望に応える釣り教室に参加しませんか。定員1名のマンツーマンでお教えいたしますので、納得するまで名人のノウハウを聞くことができます。餌は天然アマゴの好物の川虫。カゲロウだけでも多くの種類があり、奥の深いものです。ぜひ奈加さんのこだわりの釣りの世界を楽しんでください。釣り教室の後はちょっと美味しいモノを食べながら、一息入れて釣り談義。釣って、食べて渓流をとことん満喫してください。

行程
7:20かわかみ源流ツーリズム事務所＝車30分＝ポイント(中奥川) 釣り体験・昼食 13:00 解散

ガイド
村のアマゴ釣り名人
奈加 憲人さん
中奥川をホームに毎年天然アマゴを追いかめ、通い詰めており、ポイントを知り尽くしています。清流の女王と呼ばれるアマゴ。奈加さんが、長年培ってきた技と知識を伝授します。(P10 ガイド紹介)



日時 2025年**4月6日(日)・16日(水)・20日(日)**、
5月11日(日)・18日(日) 7:20～13:00

集合場所 **かわかみ源流ツーリズム**

参加費 **10,000円(税込)** ※ガイド料、昼食(アマゴ料理)、保険料含む
※参加費の他、遊漁券が必要になります。【日券:3,000円(税込)、年券(アマゴ)10,000円(税込)】

定員 **1名** ※申込者多数の場合、抽選となります。

持ち物:
渓流釣り道具一式(竿、仕掛け、エサ入れ、ピク、ウエーダー、帽子、タオル、雨具) ※おにぎり、お茶をご持参ください。

4/12 村のお母さんで行く 山菜採り体験



大好評の山菜採り体験! 地元のお母さんと楽しくおしゃべりしながら、その時々にある山菜を探します。採った山菜は、天ぷらにしてお昼ごはんにいただきます。ヨモギやコゴミ、ワラビなどのほか道端の「これ草じゃないの?」というもので。何が採れるかはその時のお楽しみ。井光地区で昔から食べてきた山菜は、大切な行事などに使われてきました。そんな風習も最近では見なくなりました。また、山村ならではの保存方法もぜひ教えてもらいたいですね。研究熱心でお話上手な塩谷さんに、季節ならではの山菜を、おいしく食べる方法をお話していただきます。川上村の春を満喫しましょう。

行程
10:00井氷鹿の里・徒歩で山菜採り・井氷鹿の里で昼食。採ってきた山菜を天ぷらに・13:00 解散予定

ガイド
塩谷 加壽子さん
出身は高知県ですが幼少期から川上村で過ごし、結婚して井光へ。集落の人みんなが親戚のような環境で、季節ごと、行事ごとにいろんな食事を作ってみなで食べてこられたようです。



日時 2025年**4月12日(土)** 10:00～13:00

集合場所 **井氷鹿の里(いひかのさと)**

参加費 **3,500円(税込)**
※ガイド料、体験料、昼食、保険料含む

定員 **10名**(最少催行人数5名)

4/13 奥吉野のお寺で「瞑想」と「写経」を体験



日常から少し離れ、清らかな空気を吸いながら「瞑想」と「写経」の体験ができます。「瞑想」は副交感神経を活性化し、自立神経を整えます。瞑想で心が整ったら「写経」を実践しましょう。お書きいただいた「写経」は、お守りにお持ちいただいたり、家のどこかに飾るなどしてください。また、お寺に納めることもできます。自然豊かな環境にある、厳かな寺院の中で自分と向き合い、心穏やかなやすらぎのひと時を過ごしてみませんか。この時期は境内のしだれ桜が見頃かもしれません。昨年は満開の桜の下で「瞑想」体験が行われました。

行程
10:00かわかみ源流ツーリズム事務所・徒歩・寶壽院 瞑想・写経 12:00 解散予定

ガイド
高野山真言宗 準別格本山
寶壽院(ほうじゅいん) 住職
辻田 真海さん
真言密教の厳しい修行を長年続けられている方です。昨年まで毎年1月の寒中に「高野山玉川寒中水行」を行われていました。(P9ガイド紹介)



日時 2025年**4月13日(日)** 10:00～12:00

集合場所 **かわかみ源流ツーリズム事務所**

参加費 **2,000円(税込)**
※ガイド料、保険料含む

定員 **8名**(最少催行人数2名)

5/3 ぐるぐるアートな新芽 新緑のシダ植物観察会



5月は新緑の季節。木々や草花も一斉に緑色を濃くしていきます。そんな緑の中で気づいていないだけでずそばにいるシダ植物。じっくりと見てみたことはありますか? シダは孢子によって繁殖する植物と言われていますが、約1万種類あるようです。ワラビ、ゼンマイもその仲間。川上村は植物が多く生息していることでも知られています。森の中を歩きながらシダを見つけるポイントや愛で方を教えてもらって、ゆっくりと観察します。緑鮮やかなシダたちの中で、一番魅力を感じたシダを、自分の「推しのシダ」としてはどうか? 推してはどうでしょうか?

行程
10:00匠の聚集合・徒歩で観察会・匠の聚で昼食(弁当)・観察会 14:00 解散予定

ガイド
しだのすみか
木下 菜実さん
通称「しだちゃん」と呼ばれるほどシダ植物が大好きな木下さん。現在は吉野山に「しだのすみか」を構え活動しています。



日時 2025年**5月3日(土・祝)** 10:00～14:00

集合場所 **匠の聚(たくみのむら)**

参加費 **4,800円(税込)**
※ガイド料、昼食、保険料含む

定員 **10名**(最少催行人数6名)



5/4

5/10

出口ファームの農業入門 ～茶摘みに挑戦!できたてのお茶を楽しむ～



川上村では家の周りにお茶の木を育てて、各家庭でお茶を作っていました。今ではそんな家も少なくなりました。波津茶を作っていたこの地区でも15年以上前からお茶摘みの姿は見えなくなっていました。そんなかつての風景を出口さんがよみがえらせようとしています。一人でするには大変な作業です。そんな茶畑を守っていくために「茶摘み体験」をはじめました。大人だけでなく子どもたちにも大人気の茶摘み。自分で摘んだ一番茶を蒸して、揉んで、乾かして、摘み取った茶葉が変化していく様子を楽しみながらできたてのお茶を味わいましょう。

行程
10:00 匠の聚集合・徒歩で茶畑へ。茶摘み、製茶体験・12:00 解散予定

ガイド
出口ファーム
出口 博一さん
約9年前に大阪から奥さんの実家に「田舎でのんびりしたい」と移住。畑を始める。できるだけ農業を使わず野菜作りに取り組み、モモ、マスクット、メロンなどの果物を作っています。



日時 2025年**5月4日**(日・祝)・**10日**(土) 10:00～12:00
集合場所 **匠の聚(たくみのむら)**
参加費 大人 **2,500円**(税込)、小学生以下 **2,000円**(税込)
※ガイド料、体験料、保険料含む
定員 **15名**(最少催行人数5名)

5/11

マルモ先生木の教室 ～五感で楽しむ森林さんぽ～



川上村が一番きれいに見えるこの季節。黄緑から濃い緑まで「緑色ってこんなにたくさんの色があるの」と思うぐらいの景色に「紅葉もきれいだけれど新緑の方が好き」という人も。川上村井光の「井氷鹿の里」から「御船の滝」まで、林道を約1時間かけてゆっくり観察しながら歩きます。杉、桧の植林された山の中に作られた林道、その脇にいろいろな木々が自然に育っています。種を風が運んだり、鳥が運んだりしたのでしょう。ちょっと教えてもらうだけで、普段見慣れている風景も変わって見えてきます。ゴール地点には大迫力の滝も。
※片道1時間程度の林道を登ります。

行程
9:00 井氷鹿の里集合・徒歩1時間観察・御船の滝・徒歩・井氷鹿の里 12:00 解散予定

ガイド
ネイチャーガイド
(環境省生態系保全等専門員)
丸毛 絵梨香さん
森林整理生態学を専攻。杉桧の川上村にも多くの種類の木々があり「樹木が自然界でどんな生存戦略で生きているのかを知ることが好き」と五感を使って木の魅力を伝えています。



日時 2025年**5月11日**(日) 9:00～12:00
集合場所 **井氷鹿の里(いひかのさと)**
参加費 **3,500円**(税込) ※別途駐車場代 500円/台
※ガイド料、講師料、保険料含む
定員 **10名**(最少催行人数4名)

ひとめぐりかわかみ 体験レポート

● 川上村と「光る君」 浜松中納言物語・吉野の姫君に恋をする



平安時代に書かれたお話の舞台が「川上村」なのでは…? そんなお話を大阪工業大学の横山先生に講演いただきました。山に囲まれた奥深い「み吉野」は幻想的な恋の物語の舞台にふさわしいとのことで、村の新たな魅力に気づきました。

初めてこんな話を聞く機会を持てた事を良かったと思っています。改めてこの起りを考えました。源氏物語を少し深く知る機会になりました。(奈良県大和郡 60代女性) 行程記号 ..○○○○○ == ○○○○○

● 丹生川上神社上社 夜間正式参拝



普段、夜間には入ることのできない丹生川上神社上社の社殿で正式参拝。昼とは違う雰囲気の中での体験や、望月宮司のお話に参加者は大満足。特別感のある時間となりました。

宮司様のお話がとても興味深く、もって日本の神道について、歴史について学びたいと思いました。三社が手を結んだことで三社がそれぞれ発展していったお話がとても素晴らしいと思いました。(大阪府箕面市 50代女性)

● 地元のお母さんと 「亥の子餅」をつくらう



昔は良く食べていたと聞く「亥の子餅」を、塩谷さんに教わりました。村外の方ももちろん、地域の方も参加。地元のお話を聞きながら、わきあいあいと亥の子餅をつくり、弁天さんにお供えもしました。

とっても明るい塩谷さん&あたたかい井光地区の皆さんにアドバイスを頂きながら歴史ある亥の子餅を作ることができて楽しい時間を過ごさせていただきました。(奈良県奈良市 40代女性)

● マルモ先生の木の教室 秋を感じる紅葉さんぽ



「植物の図鑑」を片手に散策。「葉っぱが紅葉するのはなぜ?」という問いから、人工林の間に育つ木、沢沿いの木など、それぞれの特徴や生きるための「術」を教えてくださいました。

山を歩く、木を知る、素敵な時間でした。あたり前だけど1本、1本、木に名前があることに新鮮な思いをもちました。(三重県桑名市 50代女性)



①写経で心を整える ②護摩供
③境内のしだれ桜の下での瞑想体験



体験プログラム【奥吉野のお寺で瞑想と写経体験】の様子はこちらから



ほうじゆいん

高野山真言宗 準別格本山 寶壽院
〒639-3553 川上村迫409



Pick up guide

高野山真言宗 準別格本山 寶壽院 住職 辻田 真海さん

幸せ、祈り "ご縁"を結ぶ

そんな真海さんに転機が訪れたのは今から約二十五年ほど前。ごく普通に三人の子どもを育てるお母さんでしたから、それまでお寺を継ぐことや僧侶になることは全く考えていなかったのですが、年老いていくご両親を近くで見ている、当時住職のお父様にふと「私がお寺を継いでいただけますか?」と尋ねたそうです。お父様は快く受け入れ、四十歳で出家し僧侶になりました。

川上村で生まれ育った真海さん。中学校卒業まで村で過ごし、高校から村外で生活していました。が、大学卒業後はお寺の事務仕事をしていたそうです。当たり前のよう小さい頃からお寺の手伝いをしていましたが、大人になってからも何か行事があるときにはお寺に戻り、手伝いをしていたそうです。

ホテル杉の湯から歩くこと約五分。ダム湖が一望できる高台に位置するのは理源大師によって千百年前に建立された高野山真言宗準別格本山 寶壽院(ほうじゆいん)。日本で唯一「船不動明王」を御本尊とし、大聖歡喜天・十一面観音・青面金剛・地藏菩薩・大黒天などの諸仏をお祀りしているお寺です。今回は寶壽院のご住職、辻田真海さんにお話しをお伺いしました。

ご自身は厳しい修行をしながらもストレス社会に生きる人々に向けて、自然豊かな川上村での「瞑想・写経」なども実施されています。「瞑想と写経は心を鎮める良い方法。仏教が身近でない方にもぜひ体験していただきたい。」と真海さん。「ご縁があつてお参りした人が、お参りしてよかったと、帰るときに少しでも顔が和んだ姿を見ることができたときが、私にとって至福の喜びです。」という言葉に真海さんが目指す温かい僧侶の姿が見えました。

そこから僧侶としての人生がスタート。まだ小さい子どもを育てながら修行をするのはとても大変で、「今までの人生で一番頑張った」と当時のことを思い出しながら話されました。そんな大変な時期を経て僧侶となった真海さん。今でも夏と冬に2週間ずつ、普段の修業とは別に、特別な修行をしているそうです。昨年まではお父様の代から七十年間続く「高野山玉川寒中水行」という、大寒の日に高野山で外気温がマイナスの中、川に入るといって過酷な修行も行っていました。そこまでは修行をするのは、「悩み、苦しみ、悲しみをもった方々を仏の教えで救いたい。」という強い思いがあつたからでした。



川上村の釣り名人が「川」と過ごした70年

奈加さんの釣りはエサ釣り。こだわりの天然のエサ(川虫)を使うこと。川に入り石をめぐり、ヒラタカゲロウの幼虫などを探します。朝早くから川に行き、1時間ほどエサを探し歩くこともあるそうです。時には川で滑ってこけたり、岩の間にはまったり、岩をよじ登った瞬間鹿に遭遇するなど、大変なこともたくさんあつたそうです。「今考えるといつ命を落としていてもおかしくなかったかも・・・」と奈加さん。

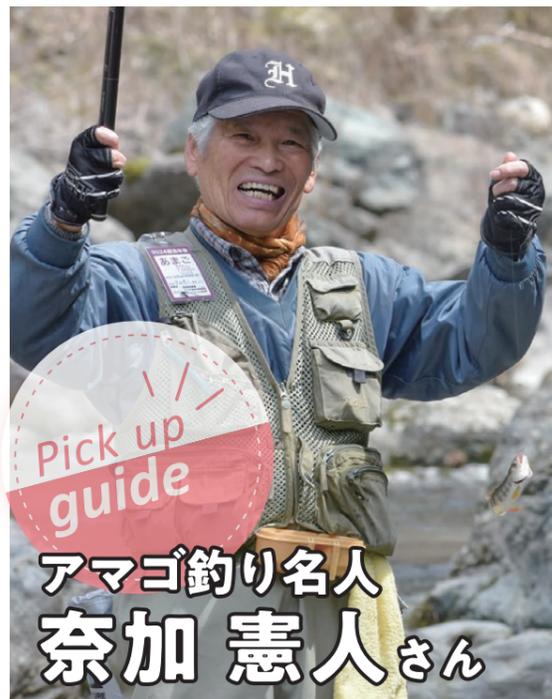
子どもの頃から色々な釣りを楽しんできた奈加さんが本格的にアマゴ釣りを始めたのは30歳ごろ。当時は解禁日の前夜から河原で友人と夜が明けるのを待ったそうです。解禁日の3月初旬は雪が降るほど寒い日もあり、釣り糸に雪が積もる中で釣りをすることもあつたそうで、手がかじかんでエサが中々うまくつけられない中でも、アマゴとの勝負を楽しんだそうです。

大事なのはいつまでも中奥川でのアマゴ釣りが楽しめるようにすること。「好きなことをして、自然に癒され、これだけ幸せなことはいわ」と釣りの魅力を教えてくださいました。

「自然に感謝することも大切」と奈加さん。釣り糸や仕掛けなどのゴミは必ず持ち帰り、目につくゴミがあれば拾って帰ることも。「マナーのいい人もいるけど、釣っているところに来て前をパシャパシャと歩き、釣り場を荒らす人もいて、そんなときは気分が悪くなるなあ。」と少し残念そうでした。反をしているかもしれない。奥さまには「自分だけの川でもないんやから」とお互いに人のことを考えることが大切だと言われるそうです。

釣りの楽しみは他にもあり、ヤマブキやツツジなど季節の花々を楽しんだり、初夏には綺麗な新緑に囲まれリフレッシュできたり、川のせせらぎ、カジカガエルのきれいな鳴き声に耳を傾けたり。ただ釣りをするだけでなく、五感で自然を感じることも楽しみの一つだそうです。

そこまで奈加さんを熱くさせるアマゴ釣りの魅力は何なのでしょう。か。「息をひそめ、そおっとポイントにエサを振り込む。かかってくる嬉しくて、また釣ろうってなる」。多い時には一日で80匹ほど釣り上げたこともあつたそうです。



Pick up guide

アマゴ釣り名人 奈加 憲人さん

①初めての釣りに挑戦する釣り教室参加者
②アマゴとの勝負を楽しむ奈加さん
③釣り教室で参加者を優しく見守る様子



体験プログラム【釣り教室】の様子はこちらから



TOPICS 01

アマゴ釣り解禁!

2025年
3月2日(日)



吉野川(紀の川)の源流の地、川上村を流れる支川は、あまごや鮎など淡水魚の宝庫です。時には水に浸かり、時には岩場を歩き、時には景色を楽しむ!美しい自然に囲まれたあなただけのお気に入りの釣り場を探してください。

問い合わせ
川上村漁業協同組合 TEL 0746-52-0543
※事務所は毎週月・水・金曜のみ営業

TOPICS 02

匠の聚 企画展 「此の先の今」

2025年
3月8日(土)~3月30日(日)
10:00~17:00 ※水曜休館

出展作家 鈴木航太郎 鈴木雄一郎 平井健太



鑄金、陶器、木工、それぞれ違ったジャンルで活躍する3名の作家による企画展を匠の聚ギャラリーにて開催。異なる素材、表現から生み出される作品をぜひご覧ください。

問い合わせ
匠の聚 TEL 0746-53-2381
※水曜定休日

アクセス

近鉄電車でお越しの方



お車でお越しの方



問い合わせ先

かわかみ源流ツーリズム
KAWAKAMI GENRYU TOURISM

一般財団法人 かわかみ源流ツーリズム
〒639-3553
奈良県吉野郡川上村大字迫1335番地の3(川上村商工会館1階)
TEL.0746-52-0333 <https://g-tourism.jp/>

